

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0202014

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	A	
単位施策	3 地方分権型行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	広域連携調査事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	2 財務企画課	
事業主体	雄武町	関係課	4 住民生活課	
事業指標	広域連携に係る調査・研究事業数		#N/A	
事業目標	3事業	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計画内容	○広域連携に係る調査・研究 ・西紋別地区町村会負担金	・西紋別地区町村会負担金	・西紋別地区町村会負担金	・西紋別地区町村会負担金	・西紋別地区町村会負担金	・西紋別地区町村会負担金
	事業費(千円)	375	75	75	75	75
計画事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	375	75	75	75	75	
実績事業費	事業費(千円)	115	75	40	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	115	75	40	0	0	
関連事項	(特定財源の詳細等)	(実施内容等) ・西紋別地区町村会負担金	(実施内容等) ・西紋別地区町村会負担金	(実施内容等)	(実施内容等) ・西紋4町村による戸籍システム 共同運用検討会発足	(実施内容等) ・西紋4町村による戸籍システム 共同運用検討会報告
	【評価・実績】	※前年度評価結果	※前年度評価結果 C-継続/内容の見直し・変更	※前年度評価結果 C-継続/内容の見直し・変更	※前年度評価結果 C-継続/内容の見直し・変更	※前年度評価結果 B-継続/内容の見直し・変更
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	3事業	3事業	3事業	3事業
	年度達成率	100%	53%	0%	0%	0%
	全体達成率	20%	31%	31%	31%	31%
事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆	☆☆	☆☆	

事業名	広域連携調査事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木 幸博
		評価者 作成者 職氏名	企画調整係長	大水 寛仁

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	広域連携が可能な事務事業の調査・研究								
【抱える課題やニーズは】	地方分権の進展に伴う自治体裁量権の拡大のもと、多様化する行政ニーズへの対応、行財政効率化の観点から広域連携事業の模索が必要であるが、現実的な動きに至っていない	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	広域自治体の連携による事務事業の効率化	① 西紋別地区4町村による調査事務事業数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>3事業</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1事業</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>33.3%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	3事業	実績値	1事業	達成度	33.3%
目標年度	平成24年度										
目標値	3事業										
実績値	1事業										
達成度	33.3%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	西紋別地区4町村の連携による事務事業の効率化及び住民サービスの向上を図る	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	調査・報告	西紋別地区4町村において、戸籍事務電算化の共同運用に関する調査・視察等を行い、報告書をまとめた。その結果、現時点における共同運用は見送ることとなった。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地方分権の進展により、基礎自治体における裁量権の拡大のもと、多様化する行政ニーズへの対応、行財政効率化の観点から広域連携事業の模索は継続して必要である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	戸籍電算化の共同運用について調査を行い報告に至ったことは、結果的に共同運用を見送ることとなったが、プロセスとしては概ね有効とであったと判断される
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	隣接する西紋別地区4町村の担当者が一堂に会し、概ね効率的に調査・視察等を行うことができた
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

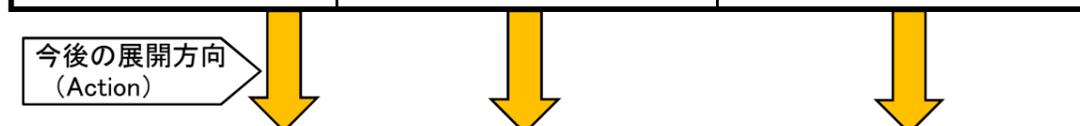
公平	判断の理由	広域連携による住民サービスの向上、行財政効率化はすべての町民に寄与するとの考えが根底にあり、また必要に応じ、構成4町村同額の負担金により運営しているため、公平である
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
これまで国保や介護保険の広域連合による運営や、戸籍電算化の共同運用について検討されたが、課題が多く実現に至っていない	同左	



継続/現状維持	継続/現状維持	
これまで実現しなかった分野以外等についても、多角的な視点で広域連携のあり方を継続協議していく必要がある	同左	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止